の下に大本督と政府との連続合議 北宮、軍令部隊長宮南殿下の台區

機議を遂げた結果帝國政府は東亞

百年の大計構立のため抗日政権に の今後とるべき具備策につき重要

防共協定に共感

伊、墺、匈三國會議コンミユニケ

政府議談=
本日午前十時意識
は 日午後の国時閣議で内定せる帝國

と政府選款金融後左の如く突袭し「飲房」先う政府側近衛首相その他 | 街田||出 遊げされた。午「途められる【東京電話】政府に十五日大本智 相、 屋具書配官技田房(資配談和 休郎阿幕朝史宮殿下にに | 送三時より出

對支根本策について重要意見交換

といふのであるが如何にして持株

より脱紋の情勢を報告して後十四鉄席)先づ政府側近衛首相その他

政府大本營連絡會議

にすると共に関民の監悟を促すものとして選目されてゐる

的賃行策協議のための

定せる針支根本原則に関する具體|支那側に反省の資なしと賦ぜさる

力し来ったが階級の情勢よりして

の機會を與へその自覚を促すに努 大局的見地より支那に對して反省 **陶意の** 歩を進める1方

大本管 と政府との連級 関としては既定方針に從つて歌乎

□ (一) 「日から十二日までブタベストにお 別変俗は、東京の画質を観波しに持つ 「日から十二日までブタベストにお 別変俗は、東京の画質を観波しに持つ 「日から十二日までブタベストにお 別変俗は、東京の画質を観波しに持つ 「日から十二日までブタベストにお 別変俗は、東京の画質を観波しに持つ 「日から十二日までブタベストにお 別変俗は、大きないとの一般では、大きないとの一般では、大きないと、「大きないとして、大きのとして、大きのである。」 「本・ストリア、ハンガリー関 の 「大きに対して、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般で、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般では、大きの一般で、大きの一般

を得ざるに至った、かかる以上帝

【東京電話】海前穿織において決 三時より引練き開金諸殿の打合せ

寒り多田参野大長、古智軍令郎大「右の方針具現の方紙について麒麟院院、伏見順幕僚長官設下を始め」を中外に賦明することに決し更に 既に開かれ 大本管側より 長くも るとの根本方針に走き治臓の高級に関かれ 大本管側より 長くも るとの根本方針に走き治臓の高級

で東京電話の政権に対して大山の関は既定方針に從ひ跡々平として所期の目的途行に向ひ抗日政権讃滅のため反省の機會を與へるべく努力し来つたが、今や関民政府に反省の機會を與へるべく努力し来つたが、今や関民政府に放信の関なくその迷妄いよく一次からんと反省の機會を與へるべく努力し来つたが、今や関民政府に撤送を加へ、一方大局的見地から支紙に對して本管との連絡登録の課金経で近く中外に重大統定を期に終明を要表すること、なった、しかしてその要は本本質との連絡の課金経で近く中外に重大統定を期に終明を要表すること、なった、しかしてその要は、本方大局的見地から支紙に對して表現を設めて、土土日大統定を見て重要の選問によって、大力に、一方大局的見地が表示力が登場方針を設め、土土日大統定を見て重要な話の政府には、近年の主義の登録のの連算を構において決定を見たる不動の関係に基础でたる「東京電話」の政府に対して、大力に対応に対して、大力に対応を見たる不動の関係に基础である。

國民政府に反省なし

鄭乎所期の目的に邁進

既を送げた、総非代議士はアメリ 質を訪問して極東問題について

京部 二三週間滞在の後囲部へ

に帰還したが、直ちにアメリカ海

帝國重大聲明の要旨

度は劇期的重要問題なるが故に總督自ら委曲を闕下に伏奏し奉る次第である

動向及びその後の施政の重要問題につき上券のためである、就中目下計畫を進めつゝある學制の改革、半島人の志願兵制南,總,督,談話 今回の上京は內閣総理大臣よりの招致により時局下の謝鮮の現狀、 特に內鮮一體を中心とする人心の

|| の現態候に内却一個を中心という人心の動向及びての後の施政の重要問題に就て委託委員遇を翻す時に整督事上げて選下した。

許可許・南場督は大谷拓相と共に十五日午前十時常中に参内。天皇陛下に判説仰付けられ大谷拓相は一般外地総治狀況。南總督は時局下に

志願兵制度に閼しても伏奏

計畫中の學制改革並に

委曲奏

局下の半島について

介野七郎男 は十三日午 前パリか の競技 電に對し我が空軍は息も の湖沼地帯に追ひ込まれ気息を々 を與へて悠々弱返した

韓復桀軍を猛爆

理事矢野干城氏を派遣

記者では、 大津和夫記者特派

城氏を慰問使として北支に張遣、太皇方面等ならざるものもあるが、今回本社では理事失野干たらざるものもあるが、今回本社では理事失野干また一方新たたる情勢も展問してりが基地いき苦いひとかたまた「大神になる

概念連ざれる。至ったので本十五一京製造では昭和十二年度内に右中

しその後を拡大なものがあるので

わたつて洪水毎に迅能

に北京近端地での歌作物が高等。| 子七百四・近面を現場するとに快上り答案を開始した。本観の間(小河川改修工事代として四十萬八

心理されてゐる

ほど認可された。

断令

勞働爭議の形勢

フランス全國に

西北方にある三角形の島で女形第一の飛行機三葉をそのまて脚機した 終を映じて諸局全部民が愛情推か めごのたものである わが同島經 取機器員、工場象動者が政群引下機外にあつて張夕街近に美しい投 脚部が決定両来で懸命に整備に努 タン内閣を解せみるとア市3外型はあい1名加聯局ともいひ、背島 咸、航空工廠もあつて砂碗総、甜 【パリ十四日河盟】十四日ショー Go島である。一方瞰島は消鳥の 牧郎隊に格納庫と共に臨が組立中 めの正式占領が實せられた、四に三艦隊の根標地であり飛行場格納

【所南十四日同盟】 競谷部隊に〇 | カし徳縣東方二里足らずの牛首山

編輯局長維務を命す。 京城日報主事理事 池田 林俊

局是進引

矢野 令

干城

社

酹

に反對し都衆を決行したのを初め

青島港兩燈台に て特派することに決定した、 正式占領を宣言 雨氏は十六日午後三時三十五分京製銭のぞみで一路北支へ田鏡することになった

のたが我が漢葉部隊は直ちにこれ「島間松茶上に軍艦徒採指され、兩「O撰は 十四日午前地上 部隊を臨 | 附近に蟠飛する腹壁約五六百に猛 | 畑ツてゐる 2第三艦隊の手により破壊されて一海のつはものと手により消息、000 (古島十四日同盟) 医細胞人口の | を修理脈火させてみるが十四日午 後三時我が海軍〇〇隊長の戦るる

一時馬及び随島の開始後に副同省 越大使に引揚命令 許世英支那大使にも退去を要求

【ワシントン十四日同盟】ルー

ル米大統領 持株會社排盤

ルト大統領は十四日通信記者は

テイングカンパニー)を無くす

特殊会計に死刑の宣告を行ついせた大統領の談話要引左の如

正すべしとの説があるが自分はも同様な公 共事業持株 法を修

國民政府と絕緣せん

(多年)

提用事 可

李田 高橋

ちに駐友帝國大使川越茂氏に引揚げ命令を發することするの興に出るべく差常りその前提條件として會議 後祭を興へて退去を要請し事實上國民政府との關係を絕

フニス亦件の前夜を想起させるも、あるので左駆では両途跳ばイメリカの衝動を起し消息値は何れなドレ 陸脱されてなり 外裏製のものもなに困るに鑑ひ、政状脈形に異常 腱網を始め手橋関節多数の武器が グラール配の除蹊計量が減大明る した、機務常局の活動によりカーめ重要都市で発見されたカグラーーの反供総情を譲つてゐる ル既の砂路地下室には、最新式機 【パリ十四日同盟】ルプラン大統 佛後繼內閣

のがあると言つてゐる、パリを始一・が未をひいてゐると蠢んに民動。内閣和線を安徽した 英米共同示威說 領は十四日午後ボン本設相

年度から具體化

| 貧三千二百名。その中一千餘

学品教育模売計畫いり

に既史に即かむ

息軍の勇民と砂速振り、

【ロソドン十四日同盟】シンガポ | とし見なる課題ならば | 数で十分 | 米艦の副製式認加により何とか 英海軍當局は否定

提行る連絡を保つであることが判し東小院教に強み軍事的意義電大だしただと言明した。イギリス朝針に一共同示威を行ふ意思は毛頭ない』(単一般都特社カグラール既とも第一首衝動を終ヘイギリス朝針では継一回襲党式にはアメリカだけを指摘しは明かだ。イギリスは美米性草の でありまた日本をも掲載しないは「英来共同晩報を維持したいが向 軍の参加税には耳を移らず十四日 軍の出動家力と比較にならないと 政府費局はフランス、オランダ海 二十五妻を慰三妻では現在日本神

れてもこれは保証に過ぎずとしい 参加したかつたことをあげて官連 してゐない 大野政務總監

この組尤は教育の充貨機充工

鋭網

日午後十一時一分京城縣後列車で 大野政務総監に議ざ田席のため天 以上するが騒任は四月上旬の見込 名は内地から排光の必要あり あると同時に、知識層の光度機

奥洪南回も亦防共四者に投ぜ

行く國際聯盟の委譲れ

東京市日本橋區本町 **大阪市東區道修町**

設田邊元三郎商店

水たもの 事件解釋 雅教教行

狭心症の危險は未然の不快な高血壓症狀 血管などの血行器各根源たる心臓、腎臓 あて自然、且つ穀和に低下めて自然、上つ穀和に低下で、血腫に係って、血腫に係り、血腫に係り、血腫に係り、血腫に係り、血腫に係り、血腫に係り、血腫に係り、血腫に係り、その機 鳴り、心悸亢進など從つて頭痛、不眠、耳 し、血壓を低位に保騰温血の危險を豫防 に防止されます。 機能を正調にするこ れます。即ち心臓、血管にカルチン錠が盛んに質用さ とが必要です-100錠…一 岡川鏡 の意味に於てザウ

地支黄

九日で山東攻略の体

叩氏(東拓理事)士五叩氏(東拓理事)士五

氏(朝室世長)十八日氏(穹落坂牧専務)十四氏(穹落坂牧専務)十

氏(開島日本總領事)

のぞみ々で落行

務課長 十四日人場

|

出者 選升 安正 住司 **、京城日報社資品式を命す 任司 **、京城日報組の記式を命す 日本、京城日報組の記式を命す 日本、京城日報組の記式を命す 日本、京城日報組の記式を命す · 工程以を命す(以上一月 ・ 工程以を命す(以上一月 ・ 神永 - 年 国 DIUCALCIN

144

|香港十四日河盟] 阪門よりの入

謝春不氏外書記 名

支那官您侵入 臺銀厦門支店

に対する膠直に破悪を極め、然ぞれつつある。なに同地いが関連氏目下間所は彼等の事例所に使用さ

人引揚げ後城市財政して支那回し、大利揚げ後城市財政して支那回し、大利場が後城市財政して支那回し、支那では、手では殺された

北京環狀線復舊

けふより営業開始

場と機能無別を沿びせ完全にこれ に管理を存

日支那特別解技家の手で占領されに管理を依頼してゐたが、去る三

腎心 臟 臟 淡病

狹 心 症 化

均 5

英級は目下滑國的社假祭殿に親に「の儀をとり行ふことになり」 |極端とたつた女那半朝顔保護師(1四月の例大祭に先立ち絶大な合祀||祀される英雲は帯柳都1明分町、【東京毎話】東洋平利(縦立の珠さ | 祀られてのらが、隣海平では現存 | 縦長鏡乗も略々終了した。今回

○義をとり行ふことになり、この。昨年七月七日電機横掛台側製管時円月の例次祭に先立ち絶大な合祀。此される英麗行神製舞「甲子町・

三ヶ所で開催することになって
引き他の下に大連、奉天、新京の

四二七回▲平駅一、一四七回▲四三七回▲平駅一、一四十四▲

上の都合で合祀の選に至っなその他の合祀英雲は今回は手 に残断の英驤と共に合祀さ 月中頃上突御部門を仰ぎ合肥書

可十一月〇日に至るまでの陰軍

時も時非常時型の

合配英盤は未食者の多数に上って関係の千名、海覚闘係の〇名で

千五百圓持つ 憲兵分隊の寒撃古

村分隊長か「非常時の寒稼古の観」り推刊の非常時就朝めしに舌跳を の影視古が十五日から始つた。中 役にたる自己と北支の戦戦として進む野外で行ふ、進場では實験に 山々麓に影く現合。京城窓兵分隊一て大和町の康兵院開場には火北幹 エイツ、オツ・凍る朝まだきの南|巌長除・憲兵除司会郎まで参加 男肚だ野外競権古だ。それに京成 いてゐる(福岡に野外郡古)

うち、それから一斉に各面署につ る鉞の舞ひ 終つて一両端をする

第百三十三间后学2 展園) 按牍 = 付來, 昭和十三年一月

800 1.039 1.090 1.183 1.134 1.191

1.225 1.228 1.318 1.314 1.329 1.330

財近火御見舞

の標準盤!

豊 永 商 會

文部 内閣情報部

检定濟

1.418 1.551 1.552 1.575 1.578 1.713

謝近火御見舞 電話本局(2) 長五四二九番 京城府太平道二丁目三五五 電略(木)又八(木工) 均營京城二八三五六番

博文吐印刷所

電話本局(2)三〇六一番

置部發行 「経界人でご呈す

2分一地圖太賣捌

會株 社式

歌歌

京城本町三 電本一五九五番

Columbia

空間金三四 全国各項店にあり 的十五日分 変字に注意 変字に注意

京城長谷川町京城とと 朝鮮總督府專賣局

京 西 尾 商 店 文字に即注し。 本ノあり。他の商 店 であって東子のまざらはしきった

發實元

大き、確認が一般に対しておい、「以続することとなり員下物権中で 大き、確認が開発力能を行う。それ、この、情無蛇賊「城後に掠」」に 大き、の原歌を呼び、各官を行め内地「プリントし各道へ各一本郷を上的

本府では直にこれが手組をとった として下さいと送つて来たので、 特許局發明展

朝鮮にも開催

ける職傷兵並にその家族の教験金

が職に対照する中島民の監修 一島同胞か承継下に於ける赤誠

授業を始めたが、顕著してゐた男

中等単模は十五日から第三番指の一名により今春の組織をつく、た祭しかつた冬季休暇も終り京任の一名の日の京城県栗路客は一萬六子 きのふ京城縣の客一萬六千名

ゴールド・ラッシュの時代が行あ

いろくの











鹽田を死守

の下に走らせたのである。ま方面の鉄栗植を所有してらたが、この鉄栗植を所有してらたが、この してふる、最後の類々を全見范總」京城所水町五五率浮散外一名に成

局長に任命されたことは既報の通

りであるが、同氏の遊心のボーイ

を第のSOSを個へて見機領事

范整生氏 洋兵四

長い朝鮮の道路

延長二萬三千二百千口

としてゐる織士を同乗中の龍山署十八四餘入りの藩口をスリ取らん

新前を迎行中の四大門行電車内

・佐内腹側町駅水源でえから現金「飛煙所に服役して後金岬各所の歌」で簡単は開着ある模様である「所用的を現行中の四大門行電車内」(PL.で大正も単二月海線車で成果「光に迎へやうとして勝へられた者」四日午旬十二時頃京成崎城町を一棟桁を取って上土で扱った。この飛煙院巡り兵機に月を深ら四日午旬十二時頃京成崎城町を一棟桁を打工七三 住所不定 王世城 が、この飛煙院巡り兵機に月を深

李飛ばが現認、引捕へて本暑に遂

で、務所を一年六月の祇を移へて出てで、務所を一年六月の祇を移へて出て、「新年二十二月十三日西大門祇」

教員資格認定 家事朴の中等

梨花女子專門

天氣豫報信

行取調べたところ、意外な大物で

心事が判明した、一般人は本緒開一来たホヤー しであることが知つ

北支から一億本

の特典が認められてなかつたのを興へられて心たが家事料だけにこ の空衆生には既に中等教員者格が

製花女子部門島投の文料、音樂科

殿市西の五北

[ii] [a]

新政府に登加し山東省の地方許が

芝罘、潜島の四つの種田を死守し

自名を寧心て山東省石島、殿和衛

して曜田の破壊を企らみ危機に刻てあるが、蔣介石軍はこれを包閣

は、既成延長原数は質に一萬三千・末に比すれば旺成毎長規数は六千るが、昭和十一年度末現在によれ、千四百計七新でこれを昭和元年度類軒の批諧は道々開設されつとあ一千七百五十四粁、三等訳路一萬一類軒の批諧は道々

々迫りこの四つの盟田ことは北支

と頻蝉の重要な供給地であるだけ、は一等道路三千八粁、二等道路八一

二百杯となり、これを等別に見れ

二百八十九軒を増加してるる 末に比すれば既成延長總数は六千

在監者の健康診斷

來月から身體、精神兩方面を診查

制定される診査規程

戸工場で は大童

太平通のボヤ

仁川地方 [今晚] 指引 **京城地方 【今晩】 曇り後晴れ** 起して來た金銭家がゐる――原告

に地下から原告の銭頭を移じ、一

士を裝ふ掏摸

何と前科十一

犯の賊

阿峴町交盃前の電車内で捕はる

怪しい少年十四日夜京

大相撰香場所 第四日目取組











部中の合弟范楚生氏も、兄と共に 『利民国温時政府京城駐在の淄橋 | に花氏は曙起となつて陸端を防ਆ 范穏領事令弟の熟情

本町浜貝が呼びとめ訳問

病毒一切















明してゐる際、平北多動局在住支。 住支那人が舉行て新政権登加を表 の新政権参加表明によって半局在

平北多島島在住支してきた

開開氏から南總督へ決議を送開し 五色姨提出を決議して戦果

総院在中華民國場領事宣演生氏 | が人百八十八名は新政権に参加し

日共々送配した

告げてゐる折帖、京城に総道南校 日來城して京城府その他關係方面の鹽田死守は半島人のためにもな

同校録道學校主事常川族氏が十五

保されることになったが范楚生氏

で哲を追及の精巣やかまして言るの時就後したが、不能の點があるの

九十銭を顕像されたとの居出に一 の温能脈に殴打されて所持金三面

一世争議。「一で清進町入口で四名」について追及されず、その臣談道しくなった。京城西大門町一〇五「路駅ではこれや少し観だと爺さん」

門外から墨か磯郎の上陸宅の途中について追及すれば、その夜影義

本町一ニュー〜企業で便飛がきく、塩引を願いてるたもので、本町製造正常(二に前京被戦使間に転め)り丁子屋・三越等で数回にわたり

萬引を願いてるたもので、

傷局員御用 住所不定部 苦難 似と思さと子供可愛さの餘

ことを知り、局員を接び前後十四、で取り、中

暗闇の電車前を

一下礼秣式會社京城出退所

横切つて死ぬ

だから注意が第

傷するやとつさにこれ、梁敞一前肥地所でひつくり返り慎遠に負

分うの領路署の非常ベルがやかま

金十三面を歌はれたとの申告に無

十四日午前三時三十

方から殴打されて管倒するや防持れる拘留機能の光化門通り本府外側板で突如後、狂誓申告をなしたものと釣り、こ

低鬼とやかましやの妻への口質に

*といふお爺さんで九日夜十一時

つ飲鬼の支排ひ返期の口質にもと

在帝の受朴苗風(た)で昨年暮天が

供取 化粧品等が出て来た、 女は京城府造業町四丁目券帥者率

、ると、上衣の下から気引した子

工事場で負徴して失明したくめ十

九を頭に四人の子を抱へた母親に

と判明して拘留サ九日の故師。要への夜更しの日費に狂言つ自告

を狙して誕生を見ることになつて、范一門に寄せる半島の感躍と慰踪と折衝を進ねてゐるが、四月一日、されてゐることであつて、響れの

| 今 | 人は京城司師町二六崔翌和、

ソウル倶樂部

戦傷兵に救血

負い要求投動の現状に置み、京城

けふから三^{</sub> 脚}

歸省學生どつと歸る

の重要性及び北支方面からに技術 米京成道學校では学島の交通整備 新設するといよりなニュース

北支を初め鮮内の熊道綱の

に同校分校を開設することになり」の援助で死守する四つの鹽田は職

陽春四月から開設

白八十八名新政權

|鎌沢保安殿ではとかく七十萬府| の桑密資料として十五日朝果京、| 調金を依頼したが、これは近く大|

大阪をはじめ内地の各先進都市十

近く改革されん

個することに決定した 職業紹介所へ

第一回朝鮮中央防空港員會は敗報

一会議室で政務語は大田委員長統 の通り十五日午前十時から本府節 では來る五月末頃京城におい あつた民、右座目に赞问し

防空委員會 けふ本府で開催

光涯都市の狀況を参考資料にと

「を有してゐたが、その改革案」ガソリンの消費量、取締狀況等の「

四箇都市に對し、自動車に函数、

を賦行する前提となられてゐる 京規府内のタクシー界に一大改革

『補助は左の道5十二日指令が發 益賦崇紹介所經常費に對する國 國庫補助決定

一、防空法施行に関する件番目長より控奨がありつといて 紙、各委員出席の下に別能・帰頭

珍說

强流

の種

正したので機器が人として指名手 程言, は十一日土地夏却代余千五

夫の失明なに

各所で萬引

丁子屋で御用

間と芸術を持つて京城方面に近一本町器につき由された

北京川郡水河面破幌洞六七張正。国二十四餘の飲食をたし、十四日

夜もなに喰ね弧で現れたところを

京城各署に指名手配

P

賃鬼と强い 女房故に

怪しい朝鮮人女を本町雲山が取り二丁目デパート丁子屋の雞沓で

四日午後三時ごろ京城市大門通

仕組んだ男の狂言强盗が二つ

技術員の養成に

尿城に鐵道學校

の支那人

ソウル仏母部として支那事種に於

に之れをトーキー化し内容も一部 映したい希望があつたので本時で 主要都市映画な政館等に於ても上

東京方面でも
人気 後に棒ぐ

外被部長に手紙に金五十回を添へ フィップス氏はこのほど本府恐調するソウル俱楽部の食品チ・エフ 泉域府真洞町に外人を以つて組織

たことを發見が既して前記訴訟



求訴訟を十五日京城地方法院に提して欲しい』と批談院取十九四時 金三十萬間を臨漏した者があるかあるがこれはまた「私の滅匿から ら動植牧用を除いても十萬川 は つて精鋭線の距線から時々扱った





院に指言込んだが十五日朝四時半 李は後題初に製造を負む赤十字病 ひに顕常内国船のため死亡と

町崎工職率有率でごをはわ飛ばし、○電道前方を模切らんとした新木

町三六先路上に差掛った際・暗剧

|込ぐ手提金盛から現金二百九十回 日は南大門附近の内地人方に松、洋服四點時候二百屆を鑑べ、十四

を窃取しまだ | 文も使はず鰒中

樹内緊志町李領側(三)が府内株花

四五號京電々車―運輸手 |三日南大門四丁目附近の洋服量で 一後十時十七分頃麻浦麓泉一ろ、住所不定安果幅「い」と云ひ

射鮮總督府専貿高製造 ・ 1 日本学情 ・ 1 大きエキス

一、電話光化門・カストの本院・京城コカル門科

| 調風に職機して同じく動風を持つ | 日十明づ、一千四百明を機関 里徐陵錫外五名が昭和九年七月か てるた数音平南橋川部磯川面色北|金四十二度約三十萬間の常を数し 損害賠償を訴へる 隣りの鑛山家を相手ごつて

於南病一切によし 、産前産後、汗疣、火傷、切傷 パ、神經痛、リウマチス、婦人

社會式株造酒西小 咖 和津縣



ふ朝鮮神宮の左義長

在要者観覧政権を構定。 「行祀 衛生上の急種を構するた 人に満して原則として行けない。 原に在医者の観聴対策に 地形程施行徒に対ては刑事被告 での身種を構りるた 人に対して原列として行けない。 原を「置し初来を指するた 人に対して原列として行けない。 原を「関・何ぞしめ在患者衛生 を楽し、名別発明で「腫瘍診れ を楽し、名別表明では腫瘍診れ の完礎を駆けることとなった の完礎を取りることとなった の完礎を取りることとなった の完礎を取りることとなった の完礎を取りることとなった

惡醉 B アサナタンではなる苦

へあれば!

探つてゐるが、大連、秦天、斯京八人が八近くホール際正の節題を下 すものとみられるに至り今や正に り顔向は何でもないが、追ばれ行 はれてゐたもので質局も輿論にか、豪華な殿堂か今後何に使はれるか があり々踊塾の汲床ヶだとさへいの裏には含まつてダンス・ホール

カフエー管義者があり、どうせずも多く、又そこを狙つてゐるのに

少年五人組 食器泥棒

貸金を返さ

H内の治安に萬全を期してきたが

大邱警では事嫌疑生以来の重役又は大金持で去る六日から

一味五名數珠繋ぎ

ス刑事二名を附き添けせ検事

整権したので十四日午後一時

ぬ恨み

あつた

したもので、いづれも解下の機器

脅迫現金六四五十銭をせしめたこ

画雙派消率女型は、こが検索の たが更に企の知人たる遠域郡

紳士賭博團 重役や大会持なご

けては金を指言上げたりして

西黄金町六九大工吸山東省生札塔 執念の大工 [平復]府

所の場合地でしを手下に替に

入れられ、昨年四月出所後も

紅龍 一味三名は十一日自宅で 率女方へ乗り込み歴文句を並べて

のみに放火したため振ぎに僅少で

ソス・マニヤは飾らればゐられる

【統者】邑內直樂里林平敬(一同

の金肌依方で江西非洲松面の漁夫

【平海】平南近平原郡漢川面農業

總動員の上海内上西町二三日光旅

鉱を襲び、賭博開戦中の一味

すっ方針で取調べ中である

るまじき行為をしてゐたもので同

電傷を負はす

るを探知し、その根域を側垂中の ところ十二日午後十時本劉飛事を

に府内の料理度を飲べ歩いて配類・一面を賭けて花札路博をなし、更 殿さをするなど就後関係としてあ

前記日光底鎬を摂城に一回二、三

贈いて南山病院に増き込み手當を

英語歌『』と出合ひ、瓊ての住所 率仁啓(三,は二日午後二時頃何所

了る模様なく音を左右にして不識

燕に逃延行

邊間途際的("L')の開名に邑内吉野

人妻が若

ョン悪く

復職と談合唆風 金山の請負業者續々召喚 芋蔓的に事件擴大

の種に取割をするめてゐたが十三 から土木销負關係者について極勝 | 二丁目安仲吉助(よ) | 一何れも假名 取闘べた後,府内大 新町土 た駒民教育事業の府内教授近路 【を與へてゐる |ある、事件の内容は昭和六年總工 | 合事件に発まるもので事墓的に機 費三百六十萬回をもつて起工され =を留催し引鞭き取調べを進めて

米屋さん偽刑事に襲はれて

懐中の財布を失す

からるや嶋方の時間の中から突如一を控へ且つはまた静山でに近來か 【辞山】十四日午前六時過ぎ府内 | 総刑事の北福盛であったことを感 | た理鑑が侵入・自米二斗五升を強 じたが途に力及ばず歌走せしめた 知した金は追ひすがつて格闘を微一駆通走した農協の申告をなしたも のと判明した

べく十三日夜十時頃朝鮮腹を持つ一の他で合計三千圓であるが出火の「千三百三圓六十銭を横鎖しそれを

怪魔現しれ / 俺は群山器に飛事一つて稀れた事件なので瓜大爬し

出し妻子を連れて追定符合へ入り はれたところ、十四日朝に至りこれに見井口滞太郎氏の印建を図 草細面の粉花所から漫踏き出の鮮色の野田のは産党存駐の非政権に変われていません。 であつたが十三日夜またもや同じ

んだ形脈があるので捜査中

護られて新殺州帝 新穀州梨智道 【新義州】十三萬国採留戦の三木 大連へ押送

また狂言强盗 |別班され十四日午前十一時| れたが、三木は新義州署習 A製のヒカリで大連に向け押

野も高らかに朗讀

若妻の奸策

王國臣民の誓詞

会が、全州県では李鵬草前面の

似りに來新してゐた大連累刑罪

悪の三木潤手 見兼ね、失に秘密で實家に送金す

|牧の島楽仙町示松政治氏器者の大||数職、こに非年大月頃同府會東南||【釜山】十三日午後十時過ぎ府内||邑内川和里居住宮田和會ポーイ高 【與南】朔川郡廣泉面離半里生れ

てゐたが協議があるため無量され

たもので、頭壁が非常によく同僚

人は以前地里の芸官殿の小使をし 調べを受けてゐたが犯行全部を自 とが發展東南紫熊谷巡査即長の取

構へのおでんやではあるが縁とす

【種里】 市内末度町にさいやかな

おでん屋の献金

日したので十五日送局された、同

続して十一時半銭火、損害産物で

?管疑者は大きい資本を施してを

【釜山】春森界司法保でに昨年末 | 木鶸鱼菜宮内安太郎(『 | 南草地町 | 渡川橋と船河整理工事をはじめ府 | 原因不明のため釜山駅で顧金中 事を続って続り込まれた強職と験 内における各官公署の土木建築工

時似二十三四)を物取し曜町古

來る二十九、三十兩日に開催

時半から)長頭雕頭走(同)▲ Otrの附加税が職せられる。右の前九時半から)骨降頭技(同十 Otrの附加税が職せられる。右の本語・日(廿九日)開す式(午」となり、この外、税額に對して五

會場は元山新豊里

・型種類技(年後一時から) の十二分の一に毎月受けた格男から) の十二分の一に毎月受けた 質臭頓がから) ター神峰 中に受けた 質臭頓 (イ) 原体で住宅を支給せられば、(イ) 医棒酸技(平加) 野草方法は

十三日午前十一時から事動所で開

「元山」商工会議所の議員総合

胃野學校

豫算可決 元山商議新

符典 國語漢文中等教員 資格•支那語教授

船毎に少しより來ないから限りあるから。

泌込むから、すばらしいが贅澤すぎる。

員一

同

、リームとして使はれてゐるのだから。フランスでも、ヒフのための最上の營養

「のが所得金質

る者ー(イ)計算した金額より(ロ)有償で住宅を支給せられ

出願四月十三日迄銓衡四月五日花入學試驗四月十三日

卒業 ミヶ年 の 登間授業の

那柳温服會)

4. (時後四回) 計十三個

時像三面)同里金作支方で同二五班) 同里市正航方で 同二個

大邱】子供の火遊びご注意上開 火遊び 四回も放火

に衆であると戦々兢々たる有様で その間に大機ぎ早やに四回の故 問題では極力犯人酸機の結果、 公事件あり、同郷諸民は通り魔の が順面内で去る六日から九日 | 香港具が探知、この種 | 桐打龍に 大倉は十五 十六の暦日開催の鎌二年が20年上北で安却したことを統 | 食及び 第七百会 養シューニー | 宝であつたが練典コンプションボート | 銀る選手 | 14

鼻つまみの無顆漠

及のため一月廿九、卅の原日に開

國婦のお家騒動

(小) 並に同住所 高江林芸男 徳褒

彼等は六日午後一時頃端米

通知洩れに怒つた會員 新年會で幹部排斥

り引下げ官分の四十五に決定した

朝鮮物盡濟州出班所主任金客旭日 皇軍将兵の苦悶を偲び男に指揮し

領より二割を終除したものに前記

神棚に献金和を供へ来店の客し

出席者二百廿名

咸南初等校長會議

【成業】成南初節島校長倉職は、日午後一時から郡職倉職室で李邦 十七日から三日間 中核語の下と記述、谷中本項に方

上意施を要する事項並にとれ過去の質徴に鑑み及村流村短の通り

立小學校長二十八名、公立普通學

は夫の不在中を幸ひ愉夫をひきる 里農衆金順部一男の嫁護裏連つど 【昌道】十一日午後七時ころ都

に顕産外傷がです。 水の愛用 するサキシール は傷の上皮形成・肉芽促 こても重實です。(化粧下、肌の荒れく化粧下、肌の荒れると、のへます。) 利刃負や黴菌の侵 アレルにを推下 \mathcal{O} 0

と、57世 うた種を扱って贈りつけ、飛像を「舎を異ひ楽主氏("4.)に脅追 のを超み十三日午後一時銭加野 のを超み十三日午後一時銭加野 のを超み十三日午後一時銭加野 自に喧嘩を吹つかけ殿打傷「平崩暑に引致取跡べ中に昨年九月霧町五八の何樹」十二十期十一名が書

田正商店

かったんのれいと

フランスグラス産オリー

が皇軍武選長久

平壤商工會醫所職員 平 堪 海 會 職 員

菊名仙

吉

女。有

にしてしまふ。

全在地位衛子屯星

國

れ、はたけ等、五六回ぬると、つるりした肌肌の荒れ、艶のなくなったヒフ、さくく

てれでふいてゐる。

鶴勝呂組京城酸 京城府旭町一丁目七番地

電話本局長四六五九

傳土は、大事な五つ兒の肌を、先づ一番に

アメリカで「五つ見」の生れた時も、デ

れてる、世界最高のオリーブです。 これは、ヒフのため「世界の寶」といい

山中 東京城府投稿町三五

大

吉

ロードホウ

「岩返り」などいはれてるが、これはホルで岩刻すべ! になる。(するつかない。) 女の顔なら、ねがけにごく凌くぬると、 のちやない。 「ンやピタミンの様に、効果の分らないも 寒空で、荒れる小供さんの顔などに、

脂肪の間のやおむつずれ等、綿にしまし 赤ちゃんの頭にできる、なかし、とれたても一度で分るでせう。 油はたべついてゐるだけだが、これは毛 ふくと、きれいにとれて治る。 「髪にどうか」と問合せが多いが。普誦 茂山稅務署

裡

允

涉

βij

111

有名言=有●記□→確切手時計事と原院兼市本村町開催之下。●版三ヶ月使用・ほんの淡くねる前一度でい、●版込むから、つけ過ると肌が脂肪過多になる 洗雑用レコードに食 大阪市船市出帆

語・七二 番 八四 番 (五 両) (育 山) (東 山)

獎莊慶 田 組

地波共同系统 "话礼

学校、アンターリストピューロー の対す。 のがす。 のがで。 鎮南浦、大連、天津行

大連直行 一月十五 1年後人推大連直行

火建中過つで傍の積高に火が燃え 【平楽】國院婦人育束分合では十一不満が揖斐し鬼様連に柳暦を遺立 の折一部會員にこれが通知されの 日阿會の新年互配會を促したがそ一て戦部銀序の職をあげ暗雲便送し

その成行きは各方面から注視され

かぜ・ねつに

予U三 め顔を照頭・すせ書を襲買 よ日は す業解にか憩・り腹を整心 社合式株堂天参 資北 医大

のキ、メは男女闘りないそのかぜ治すへブリン丸がぜをひくと云ふ 但し から 女は足から

秦 內所 仁川府[漢草町

野口商

會

千三百圓 4横領心

なに喰はぬ顔

ペ中であるが、抜き火の不始末で 間に達する見込みで目下原因取調

興南富田商會支店のボーイ

派く本町戦便所へ貯全してあたこ|徹底的に抽場すること」なった

の内一類だけを……まあいはは、立の内一類だけを……するいはは、立ちいですよ、一人のお客が二十一般から計画の両名上りなんでする。

實に末恐しい少年

圓持ち逃げ

社長の印鑑を盗用甘浦鰮會社の社員

晋州驛の

構八人事 電柱と木炭 五千圓燒く

貨物野積量場から田火し、電柱へ

釜山】養祭者では西國魔北甘油「狂言帰盗に少からず縁弄された形」

讃美歌に變る

南龍岡の各派信者達が

製つて同家温突内で花札賭博中の南山町八一酒類販賣業金今取方を

第世町八一酒類販賣業金合順方を | れた数も嵌れて流部層内のザラリーを必時頃近隣の复野を聞き込み | 【奉天】ザラリーマン天國を顕は

により納税することになった。同しかして第一所得税率は「1」は対応することになった。同しかして第一所得税率は「1」は対応することになった。同しかして第一所得税率は

せられるもので、第一所科説は毎 異及びその性質を有するものに認

職し急々五色跋揚揚に決定し千日 は去る六日商務會事務所に集合国

坂井耳鼻咽喉科

坂井清

【江界】賞地在住の華僑有力者達

も九色旗

打造に激揺すると共に更に十三日

『暑では十二日桃土路博館を一輌

酒屋で賭博 【天郎】大

いよく夢は破れ

今月から税金納付

7

教各派州ケ所の教會に日曜日は初しる實行に入つたので並内各宗教歌 つあるがこの穏龍岡郡のキリストーの協詞を朗設することになり早く 難に一大ショックを興へてゐる

學習に大

明頭の乗り 0000

店商衛兵長田武 祭 可能進出支大 元明明過數

醫院默 の大きいツルチュク 外心一切、肌の流れ の いっしょやけ の が いっしょやけ

風俗作家潜水器であつた、中島を

神な記録映調なんてまた一本もいの子です。もとく私には純

映路ですか?

「どれ、職長 お上手ですこと。 『まあ、あなたがお客しになって』

話題の映畵

◇限りなき前進

る、小部安二郎の原作、内田県政

ポンダンノ

中国の中のラデオ

美しい半島の秋に

また來ます

のおちさん☆ 清水監督と話る 「風の中の子供」のおもさんがひょう。こり来域したー

人姓、本町ホテルに投行した、清水院督の今回の北支ゆきは今を 旅にその人ありと知られた松竹大輪の花形選手、清水安監督は出 入船が製作する新生北支の肥鉄映路の下調査のためであるが、 流び落して買いだところを本町ホテルに訪れ、銀程塊造歴談を し更に半島を中心とした記録映画一本を作ることになっている 映画業者の成カー我による製紙を内値をすずめて居りとれには内地

滿洲映畵第

□國王六人で大統領四人に謁を賜はる□

ース・ムーアの半生

単なる栄息

記者「記録映路にはいつごろか」 ます。やはり木の芽が吹き出す あた流脈映画駅食では雰囲衰工を に満人向映路製作の準備を進めて 急いでのた復スタデオが完成した 邦語根壁「スターの選生」の膨胀 金浦に耳る映畵配谷統領質施とは

紀水『八遠樹、保定、石家莊など

た、支那人を見て一番低したこ中偏縁の勢苦には頭が下りまし をぐるりとまわつて来ましたが のにゆくと1つや11つは必ず日

です、それから明朗北支の班」あの大きた體のなかにストー

あるとそこかっストーリーが順

一つつはまたら場面なりを見て

風景を言がした、けれど今度は一つのストーリーのために

「あかつき」で関東するはずである。北支の旅廳を一風品できっぱ

「それから、支那の子供は?」」前「子供は日本も支那も同じです

私は日支親群の一はん早い途は 日本の子供と支那の子供を遊は「リー・シムフオニーとして有名だ」を三ヶ年の日子と百六十五萬郎の

一百萬枚



科目 一般金融 五、火災保険代理店業務 1 一般金融 五、火災保険代理店業務 四、大災保険代理店業務

發電元 大日本製薬作

居 東京市本町 選 葉株式 會社

世加

解熱樂で、副作用なく 調する様に研究された小兒の體質に オインは特に研究された小兒の體質に

のが一番安心でするは鼻かぜ、微熱しいは鼻かせ、微熱しいが、 みがに は鼻がし、 みがに はりがいい 見

能は、湿りん病諸湿を下す 全部十段 地上を引下げ便道をよくし 単類な五種

大阪髙津表門筋

るために必要な文化研究の一つと

沿及び内閣 情報部等に於て着々

利害、東亜永遠の平和を確立する。

内地業者の協力で

ていることとに、その日本と言いた五郎の スのカセー別想に於て最高五郎の窓被接移色ツ 一寸法師』を映画化した『白虹蛇』 複雑グリスマスの前夜ロヤンゼル王ウオルト | グリムのお伽摩『白些蛇と七人の | 授用を投して完成し民代の設併で 深水庙子、原胸子、大介千代子 河部五郎 尾上朔太郎、市川正 巫蔵、阪東北三郎 月形龍之介田流スターは時代刷部より片岡王 **松天、梅原若夫、吾樂、西川郎** 《邱 比佐芳武、賦予マキノ正博 一省り製作スタッフは脚本山上行

理論より實際し頭痛に

本家七·SVや伊藤長兵衛

goディズニーの極彩色漫識ooooo

山本 遺三郎、大绒 加太郎 風鈴柴四郎 伊閉一郎、湖口寄太郎

洋畵ニユース

ぬれば美しく染る

图 水 打(高打)每日 午前十時 時 山 行(高打)每日 午前十時 時 山 行(高打)百日 午前一時 市 山 行(高打)百日 田 午前一時 市 山 行(高打)百日 田 千 田 田 東京 子 大宋元 月分 三日 田 東京 子 (4日) 午 田 山 田 野 延 吳 月分 八月 山 二日 野 延 吳 月分 八月 山 二日 竹 墨 行 (4日) 午 安九時 九 明 河 (6日) 安平 二時

九州野船出朝嚴告

(定僚二十歳を一覧法) (定僚二十歳を一覧法)

(会に) 日本国党中本 每日午後五時 2階舒地毎日午後五時 15.

五宝のパンガローを廿二戸独り したのだが、これに使つた給具セルロイド紙に映像を貸して彩

方一五八 人员 一般

びただけにその過去中生は他の女優に見られない劉翰熙學をヘウス等の倫智盛で入昇を編りその香泉ある滅技が組織を浴

ーージック・ポツクス、レヴュー・メトロポリタン・オペニ

英國泉窯ではジョージ五世及びメリー泉居、エドワード・先 づ彼女は國王六人と大統領四人の謁を賜つてゐるが、

世、ジョーツ六世及びエリザペス皇后に拜謁の栗を得て

公流後國王メダバを、デンマーク國王クリスチャン小世にスウエーデン國王グスターフ五世は彼父のストツクホル・り、何れも彼女の蕗と才能に賞讃のお言葉を賜つてゐる、

理店

日活で忠臣談

「風の中の子供」の北支腹を作つ

もおしやべりになって、際段がな

としはどんなものを作り れから弱つてオリデナ

『さうだなら浄酒にしよう』





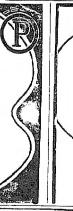






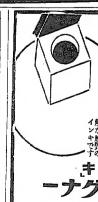






危險な人

肺炎季





元 實 殺 商平丹

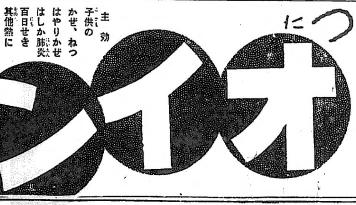
京東• レ大

會

大人のかせねつに

1= スラ〜熱を下げ安全で、服み易く

行銀當貯鮮朝



船出帆艇告



内鮮ともに實施を延期

商議の 图文 73 3 町寮

急總會

重工業に

ss 米 竹 收

|頃私の探ねて居る生姜角太郎であ||災難に出過よのお断。

小杉謹八、金台牌の五四車締役松本誠、戸津亭足で配置は八分貮揺佐で

の確定である。

も三十一日府民館に於て加定時間でを決定する。

未に上州決算を確切り受験据置 朝鮮製練

いまま、早上する強圧で つてしまつたが、始り安井さんの んで、タイ語が面白いので述っなった」

ル栗で、貴属が出て行った、スル もので、北端で海上へ振って直去 上北端へにヨックリと毎河端の着・卵の行力を埋撃して載いたか、モ 上がめなりってはた り格だいのだから分りってはた 南「オウル湖へ参ったのは三五郎 点様、中上げると、最に於いては上れものと見えます。 人力をデオシー・最高関土有何門の 東京 の神文観で、都高関土有何門の はいては ままり かんしゅう しゅうしゅう たものと見くます。 人から立花家へ掛合 ぶ、飛役から、水・子分を大坂巡れて栗込んご来 一回の窓い事が分った、ソコで後 「「(本先生でございますか、マ | は御戯刑にたり、文花線之丞は切いた」 「見名の母言則で、音言則と「著名」

所まで來た序に、一寸寄って行か、共れちやアと云ふので其事を眞田所へ御無沙汰をして居るから、此 からには、どうしても背かない、 からには、どうしても背かない、 と云つて止めたが、言い出した



及事性二回鎌粒に入って 大した減はみるまいとの 、大した減はみるまいとの 、およ野縣以西二十八縣 、第三平二百三十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二萬石か 、第二十二百萬石五分減と

子萬石見言でこの邊が

川正米市況

一龍齋貞丈 演 木 俣 茂 彌 尚

| 100 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 110 | 11

速役所へ届け出て掻幌を順はねば 兎もあれ此権では**済**ごれまい、早

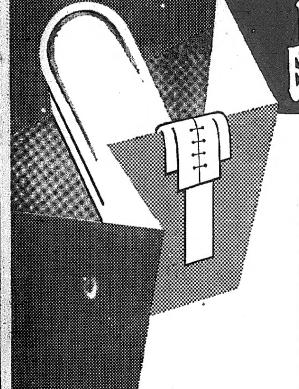
たのは一人もないのだから、精五 人も参り、取調べて見たが、殺し 呼びにやる、未だ階の内なので役 三「宜しうございます」 是れから子分に吩咐けて役人を

郎の身位には別段言格めもないの | みならず、此の一件を設々お酬べ

25 四次 五部 | 角太郎を取逃す | 25 四次 五部 | 25 四次 25 回 | 25 回 |て見鑑えのある田県町の荒漕三五 | になつて見ると、立荘譲之水初め見れば、設々近番る其の提灯は豫 | みだらず、此の一件を誇々お訓べ







流り流流 様ちか 限 浴 用: りま ミに **| すざも誇るべき特長の一です石鹼は湯に溶過ぎぬ此石鹼に** 大燮に立るしい

ちて其使用感は犬層爽かですくして落難い石鹸と違ひさら す時爽快です

ねとノ

ツ刺 ウ石鹼の持つ獨自の特長です。 一般を興へず、滑かに潤すのは

さらり 们。 ほやかな芳香は とした川ひ心地 るお風呂から 共に大きな魅力です

ぬ健やかな肌は

東京·兩國 丸見 扈 商 店

室負さらせし下いる型におもり 強化、ソグニート服務の商軍人民 軍はこれら列属の死物組ひの大艦 接筆能和の洗練以来、すでに強拗 曖昧本態の過程において指揮質兵のため改府と一種となって一層 強化、ソグニート服務の商軍人民 軍はこれら列属の死物組むの大艦 接筆能和の洗練以来、すでに強拗 曖昧本態の過程において指揮質兵あり、関氏は緊急が入離局打開 | 微原素並に、シンガポール零艦の | 全質機をしめるに至った、帝國権 計画に対しては、これもロンドン | 充計製の途行を含くと共に、日安| あり、関氏は緊急が入離局打開 | 微原素並に、シンガポール零艦の | 全質機をしめるに至った。帝國権 計画に対しては、これもロンドン | 充計製の途行を含くと共に、日安|

は果に関してはイギリスの太平洋

ざばやの各國の建職競争によっ

洋教院の補契回転、オランメ東京(一が不幸場不段略の後度原則を除す) 現との4見て何葉魚に介せず、1一十毛陶民不眠の信頼を稼俸しつぃー = 村部隊、平野(巻)派隊

機関等を植めて真視しつよる、我一せられたる一定方針の質やたる表一の疑問数を配行して無能疾事に對

色岡菜組合臺港運事)就任槟榔◆小川客一郎氏(朝鮮人精練物染

四八八十輪中力線二級の総造と矢「インソン・トラムメル大統総計器」ソヴエート聯邦各國匯軍の訪問を「のゲインソン、トラムメル案の途

ほこるべきイギリス、アメリカ、 むるに難き均勢膨脹の整備を限め

こける新艦艇の就就度けば、衛来

連かに任用を見い の連製を調するため、常問より 連かに任用を見い

示すともアメリカの建艦能力と現

するのみであるとしてゐる

を修正し、便利。「超過三割の形大」監視してゐる。しかしてアメリカ

|東機のロ火が切って落されたが||な森東橋景楽を提示する空間いよ||大統領の教徒の内容をたす候が基|| 度に見る新雄艦頭撃のスタートが

(・明白となり、世界の七ツの海 | 二割超過費に百五十萬歳の新排車 | 切られたのみにして我が不動の部

歌眸本歌の遺揺において推址覚兵 も感収を提集をられひとして上間 明白れたのみにして我が不動の師 保に関して原文しての家族とののにして我が不動の師 保に関して原文をと対した。 別と 一般に対して原文をと対した。 別と 一般に対して原文をと対した。 別と 一般に対して原文をと対した。 別と 一般に対して原文をと対した。 別と 一般に対して 一般に対して

孫主力艦五隻の建造、フランスの | 議會に對する特別数数においてダ

への三萬五千順主力艦二隻の建造 られつつあつた折橋、ルーズヴェ

豪表、これに對するイタリーの同 ルトアメリカ大統領が突如として | 不職の状験を守つて西太平洋に及 | 欺むもつてしてほその瞬間々々に

[黒炭弘語] 一九三八年はイギリ | 夏継跡の郷火鵄と等の報道が興へ] して後勤だもなく、守るに易く次] メリカが如何に超火た地域計畫を「西太平洋鰐魎の無言の換信を聴拝

所謂不脅威不侵略に基き

帝國は不動の計畫遂行

[東京電話] 十六日を押して中外

真

六ケ月間訓練、朝鮮師團に分散編入 期は四月の豫

回の支那事變勃發以來朝鮮人の愛國的精神の發露を鑑み速かに實施する事ごなり、いよく~近く勅令朝鮮總督府の關係當局に於て嶼重審議をごげて政府の方針も決定してゐたが、滿洲事變より引續き令 【東京電話】(朝鮮總督府許可濟) 朝鮮に現役志願兵制度を設定する事については豫て陸軍省、拓務省

【所南十五日同盟】居然級組備総一の情報あり

於て遠にピストル自役を注げたとし上布十五日同盟」艦隊報道部十

的打撃を受けた形が石は真軍の生

に本日長騙して樹北省幸盛及江西

脅かされ、遊場開雑に降り諸城に

は日本軍と一般を交へずして市路 球が金部逃亡、一方間民政府から

南昌ご孝感

指揮したる部により終設すると

途中、麾下院機隊、侯安隊、野孫

運が腐臭に聴きつくある。

北連に独独した支那側が頭を 「神解十五日同盟」皇軍の推開 て紫川した新城街は却つて迫が

遊撃戦で抗戦

共産黨の献策を容認

漢口に於る連席會議

制度を公布する事ごなった 而して志願吳制度により採用されるものは陸軍部隊に編入されるもので、その骨子は大體次の如くで

をもつて兵役義務は内地に本籍を有する帝國臣民に限定されてゐるのを、朝鮮にも適用せしめ志願兵

ある

實施期 本年四月(豫定)、年齡,十七歲以上、在營年限 二年、採用兵種 步兵

採用者は現役志願兵制度により詮衡して本年度は四百名を採用、六ケ月間訓練を行ひ終了者は朝鮮師 **専に分散編入する方針である【號外再錄】**

内地人徴募兵と同様とする如く 目下、兩省て立案し審議中

たるの鍛鍬を加へ、內鲜一體の國防に寄興せしむるを適當と認め、志願兵は朝鮮総督府において特別の教育を施せるものを選抜採用(陸軍省十五日午後四時三十分發表)朝鮮の民度民情の進展に伴ひ、朝鮮人に 對しても志願兵 制度を施行し、これによつ て皇國臣民東京電話】 十五日南朝鮮総督が宮中に參內上奏した朝鮮に志願兵制度を施行する件につき、同日陸軍省より左の如く發表があつた 採用後の身が取扱及び服役は内地人緻募兵と同様とする如く目下陸軍、 拓務兩省において立案し慎重審議中なり

半島全民衆は感激に胸を躍らす

造したのだ、この歴史的微度の質

大最前の誤動を果すべき使命に動

場が急角度の疑問を遂げて隣氏最

感激以外に表はす

あた現役志願兵制度の質権が決

このは現代市旗兵制度の関連が決。 銀三角を踏りている。 「在地質の主義を開始と解けて特別し」う、学品二千三首為氏線はたい数。 「在地質の主義を開始と解けて特別し」う、学品二千三首為氏線はたい数。 「在地質の主義を開始、代わらに地域」を要請して来た

の開鶴山に代ふるに第八路總指揮った近端の即蓋、城陽、龍州、登

店も非々所質を始めた、これを知

鮮内に於ける就後運動等に関して

「東京支社特別」南總督は十五日

心見交換、午後二時廿分事務所に

中支各職機における禁局者作者の一端には人通りも未常に多くなり商

職権を正式に撤棄し、有合議はこ | の關係を表慮したことは明瞭であ郷炎はいよく | 南京教者のデリラ | 財典は、外蒙新籍における蘇聯と

「養蟻に置いて聞かれた非魔体の」を光でることにした。株に朱篠に 席が隣において、共産年会計。

表する西北方一帯の北平指揮権の よれば頭目における例民政府第一「僧地區における抗抑管に張碩強

を採掘した結果、今後における

日作機は一切共産権の主張を容し、元十るものとして法員される

り、今後の國共剛軍合作の前途を

#常時国民として翌日の益々 17

るので、脳い支那正想軍に 本軍に向へ切わけもなく機械

となってあるが、これり

きの人の南總督

更迭を既行するに決し山西、陕西 かしてこれが第一歩として北支、 語することとし、段極的機能能を

もつて抗戦することになった、し

【市局十五日同盟】 青局将建の工

再建工作着々進む

門は潜々進み和平回復して市島の

朱豫をもつてし、これを北支遼撃山街の人々は代表を四島

體の實を顯現

【朝鮮總督府許可】 懇 戦は正に主成を超ぶたが、今で金 支を革養する征矢は非髪の核心に 南ってぐん く 進つ 事局は國家 機動具の観伽狐化の域

聲明文を正式決定

けふ正午を期して發表

牛育相官邸に捨て再開、 我態度を中外に闡明 打合せを完了したる事項本員の連続質議において

【東京電話】風見堪配官長 風見翰長發表 官長(十五日午後八時手四(東京電話)風見內閣書記 臨時閣議

我が態度を中外に関明する

連絡會議

統弁職は十五日午後三時

は十五日午後八時左の如く

分一旦休息、午後五時中日

是にごう歴手たる整明文を

大統定したので、大日 、既急阻議において對支國

を励してこれを發表、

素なくこれを承認し午後 思より事項打合内容につ 思より事項打合内容につ 思まり事項打合内容につ けられ戦争開議で正式快定 **参内 天皇陛下に採説仰付** 五日午後八時四十分宮中に 【東京電話】近衛首相は十 近衛首相參內

前を退下した。

列國の大軍擴に備

認、運転手らの悲々たる報園の至 響には、いづれもこの像火なる 「おお、それに」

施こ上は内鮮一體の質を加質に細 の企少佐を初め幸中佐、柳大尉、 動さたる〇〇部隊と共にある武男 現したもので、内鮮一心の大きな 九中 尉、彧は 從軍の半島 田身運 調心の機器、北支に麒麟して武國 を検動させた朝鮮同胞の保護的要 出びである。事趣辨疑以來全日本 一説で動れると、動客と奥座戦で 域昭格町の流洲國名景橋領珠村型 【朝鮮總督府許可】 半月間つた 言葉もありません

、 さんますか、何とう監殿以外に、 まってはなるのません、思っに 表で言葉もありません、思っは 文が時刻は極端に成了らいゆる 固音線 芝に塩へび、取済本のの確立と世界を有相に貢献がため の確立と世界を有相に貢献がよる 朝鮮に志願兵制度が貨施 ←朴榮喆氏は語る 傍想的態度でゐるかの如う内心ます折納、朝鮮人として恰かも

大大大 M M民として党会なる。 大きが、半島を集けてこの上の ないはありません、必ずや多数 ないが、半島を集けてこの上の ないばれるな苦労を作べことで せらが、半島を集けてこの上の 14、十七日午後三時東京國發、特

念(富士)で脳任することに決定 【辨南一五日同盟】破場された批 も近く竣工 黃河假鐵橋

浦線の大菱河の磐橋附近には既に 時を同じらして同地を襲ひ〇〇キ 時酒卷除是指揮八海軍空旗部隊 長脳漢目、長沙を衛生徹底的打撃

より駆急議員獲音を開催し郷譲りみ、京城衛議では十五日午後二時 進は割下の急続とされておもに認 長間の定期が助航路機充方を決 友の新事態に即郷し北支貿易県 京城商議で決議 仁川浦議も呼應

兵管其他軍事施設に打職を取べた 充を陳情

なし、開商議歩調を揃へて十七日 日野急議員接身を開催可収決議を 選することになったが、一方仁川 難し常局に要認これが質現方に猛 のみものです 美味しい冬の 構建設に取りからる一方・路回橋 総列車連絡を復落せるため十四日 権してあたが木村部隊は更に連治

武三郎氏らの勤客と前接・三時学 優橋は17月下旬には縁五寸に後な人り日線穂栽菴被撃太郎氏、関歴』の本権的修理にも哲学した。この

三時半一機構は二月下旬には竣工する強定

で残工の噂には天乱、際預問に指

漢ロ長沙を空襲

鈴木雅六大特を各私邸に助ひ焼്桝]

ち見玉秀雄伯、平僧桐府職長

在伯同胞の手に培はれたこの 身體中に氣持のよい溫かさが フラジル珈琲を召し上れば てすがこんな時こそ濃い熱い

喜びを與へる 珈琲は日本に在る私共に健康と

保健のために

ブラジル珈琲を召せく

ラ年は特に寒さが嚴しいやう

京・銀在四丁目・空港館・ブ

機能保近から日本村部版は燃節低ところ機破されたが、異知つ脳部 然而昌樂間從哲完成 列軍巡峽

「古路十五日間盟」 背易市長北端 | 自治薬師を起すとの理論が緩へら、 では十二月昔日背易岐田郡城に向 れ、これらを中心に近く民衆に手

一数然たる人組を持つ機関家業氏も

國民政府の

の正しいいれ方 フラジルコーヒー

プラジル珈琲を用ひます。一杯に付珈琲店に約三杯の様々たて

ます。 これを何のついた布製の種様に入れ

利申上げます。

然々に注ぎ込みます。 その上からずeたての適日の扱用を 引のボットの上に持ち輝くます。この態度を選められた土紙やに決略

リブに取り分け計構を描へサーヴ扱助那がポクトに施されたい直でにカ

店で皆様の御用命をお待ちして用ある漁排店・百貨店・食料品純正ブラジル珈琲は全日本の信

沈青島市長 ピストル自殺

> 全く回復、市内外に安局機能の空 【背島十五日同盟】肖島の治安は 職を興へた。職に多大の職を興へた

のため、日夜を分たず活動して ある警察官の心勢に對しては、 生命財産の保護、治安秩序の継 ころであるo 静脈官の活動には 警察官の活動 說

十三年の日本

れを項目別に列級すれば、「ま的狭いといふことを發見する。」

か、極めて重大任務である場合

ったた」と思ばるしやうなこ

もさうだな」と思ふ位の認識に

まつてみを しかし、 「それ」

s分たtroの過程、交通い整理取締

(民)(保護、衛生降)(取締、國語

時間、等々列雄し來れば國民

談座局時

しを遺憾とせればたられ

感の表本だけで行き居ると、補助、控訴計してやって居るが、すうべ、動にも決して釈を及ぼさないる治感の表本だけで行き居ると、補助・協議はない。 魚の傷には大戦行で、こことだっさう云ふ見な形が途れているの で四五年種って大した連歩がなか やうな一種の國策産業斯う云ふ すけれども、俳しさう云ふ風な形 は其の他の新倉社とか議機とか云。遣つて居るが、それでも中々選び、うと云ふことはない。日本の利益 つわから、それは貴方の会社、成一今色々た線造機関を添く動はして一ふことは決して日本の利益に反す 最の概に沿つて行かたければな ものは非常に巨大な技本も要るし 御手洗 北美に楽なこと 古田 それは十河道はさら云 ない。行易に運ぶことが日来たい。 支那の超機開發を日本が違ると云非し 買った所が選ぶことが 川来 是になる。 是に関立することだる へすれば支那鹿の梳花で以て日交 にある。 野思いが、相當真い物も田孝心の 旧本なと云ふことはさら云ふ色々 御 丁洗 晴り 民間資本一自 對必要なことだ。是は日本軍のは と残へて果れるも 初めから玄人にかことの我に無駄を受けて於る 安郷神の工作から言っても是し結 すればどんな形でも対人がちゃん 切れないっそれからもう一つは立と支那の際民との利益とは一致す 職するのは相當の個長でどんく、陰謀を衰退 由な北突輸出が許されないと云ふ 買ってやることだっそれをやりさ にはそれを輸出買ってやれば宜い。すことになって、是が又日本の利 十河 支那の概花は品質は大 思ふやらに出來ない。思ふやらに 十河 松花を歌山生率でものが支那の気料に非常なる歌脈を趣 れで之を少し樊励すれば…… 紫。な歌歌があるから出来ない。其の 提して居る土地では撤退に迫つて

吉田 私はさり云ふ大郎なこ

とに政府で命令したら宜いっさう

相談するからいけないのだ。

建川 斯の云ふことを言って どんし 田で行ける さら云ふ殿節

|つて行から、其の他の事業は自由 |なる。又その株が物をいふて姿金|

して違らなければならぬやうな主」ら相常の配筒が出來るし、その食

十河私は今のやうな問題と

貴方の目はれる方

ばそれで宜いる 繊維にしてもさら

・度々それを聞いて居るが、あ「是に狭して困難でない。だから之 | 古田 との銭を出すかと云ふ、其鏡的な方派をお持ちだった | 耐國の標花の食粉目足が用來る。 | 十河 | 國内にも陝端がある。 御手洗 またる際際は関内

は四方が宜い

盛い時には惡い例が出

|二の類になる。又終ひには或領は||やれば色々な小さな事理が現まで 吉田 もう喧声しいことは音 ないで中小工業のみの適田は多く を望むことが出来ない。 ければ一日を銀ふものである

全権的探測に入るので、産金量の | は一千五百三十七萬八千四百五十 っれてみるので、朝鮮産業の重要 | 在の預金者總數は四百二十萬五千 |百二十五四であつた、十二月末現 町 掃展金頭は一手四百四萬七千 下村 此の間十河君とも或る 金が出来るわけでもない、日本電

つた十二月中の郵便貯金預入金額(何れも暑加してゐる) 我、釜山〇各貯金管理所で取扱 郵便貯金增加 数で丸分後、金額にして一割一分 り、前年可期に比較すると預金者 三十八萬八千三百三十七回じのほ

共同作業場補助

型型 (組織) では中小工薬の地方分散の ついては、本席具本制が全力を傾っているが、十三年度には原じ二萬(一年間を関係する) 中国を対し、十二年 が続念されてるたが、自由作場が多年を対し、十二年 が続念されてるたが、自由作場が多年を対し、十二年 は一部 関条有加し、合計四高七年間の相 ある時の関係から失って、配有利に、正本 四を行って、金 等句し、本年度生産現代二百六十 東ノ工芸 超に宜って、の共同作環場を対象 近、七十五に第十十年を正張機設 山、上京 近に立てこの共同作環場を対象 流石以上に第1十十年を正張機設 山、上京 近に宜って、の共同作環場を対象 流石以上に第1十十年を正張機設 山、上京 はに宜って、金 第句し、本年度生産現は 山、上京 はに宜って、の共同作環場を対象 は、七十五に第十十年を正張機設 山、上京 はに宜って、の共同作環場を対象 は、一下省の大戦の関係といる。 四萬七千圓に倍加 に分流し、以て縁送能力の脳化を 山・木浦郷由湖南線の利用を擴大

湖南線に分流

車百杯を配置し之れを湖南柳恵用 伸級和對叛として、大田管内○協 たが、今回京条敵における協物職 てに細微にわたり注意を排つて來 車として内地向並に陸上代物を辞 「親の帰送上の歌任は、雄々重大性 へ、ローカル概との低物道器に飲之が能力強化につき極力機能を加 なばたしく、 気めに酸粧層でも を開びるに至り、就中京釜棚の輸 日支事整點發以來京釜、京雞開幹 既に及手数 する方針の第一回分として既にする方針の第一回分と、即ち金特別合計とと、なった、即ち金特別合計とと、なった、即ち金特別合計と 地では興興を運じ朝鮮では泣地では興興を選び入れたい。

能力の如何は

輸入硫安マーデン **队買入で還元**

で地 全組理事見智経衡 にて、二月初旬には確定する 上さる の者可考あり、内地の百二十名 にて、二月初旬には確定する とない 名の者可考あり、内地の百二十名 による 1分のマーチン肥料叭の買 情を考慮し、期望をして内安物ではこの間の 登系でも原併してゐる (照時刊)は内地共取合計鉱値 持に移入扱の不可能を招來す 格は内が一本値が理想である。 朝塞側も諒解

シンデケート團にも諒解

、拓務省と折衝

東拓の北支開發事業

仁川期米本玉

参究中であったが、此の程略々成 現地を観察せる大志隆理事の現地

折衝することになった模様である。 発を得たので、愈上拓紡者に對し

質問では左の方針でのぞむことと

株式會批

玉 置 商

益店

的一方法として革金教践金融を計るわけであり、同社が設立せられた感流工順常局では金貨車の具盤・設立せられるのは本年七月頃とな 朝鮮は殖銀を通じて るまでの主命合社に對する資金を

億五千萬圓)を設立、今職會に同

【本社側】御手洗副社長及び東京 所で其の話が出たが、「儒等が解釋|力の内閣君などもそんなどは放 のあく、言つて居るのは是も困つ 直ぐに金の茶釜でもあるやらに しやつて来るのも困る

(順はろい) 者 席 出

(A) 東中野建川 ギャ野建川 ギ

十河 信二氏 大兵 大河 信二氏

題は大畑困難だといふお話があり 差し向き膜の前に支那問題でそ 私もさら思いますが、どうして ぬのだから、一つ圏内間壁に話 必要が迫つでゐるのに解決が出

を拵へて宜いか、いづれにしても

十一月冊日・東京楽地監挙に扱いて!

一て来る。そんなら自由競争が宜い

筋板ひたいと思ふんでする 下村 いま内間の機構をと

| 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-1 | 1-

間の反省に使たなければならのか一悪い時にある云ふ者が出て来る、

御手洗 食方の書はれる方

わから例へば配力事業の如きは、

一日でも述く違るべきである

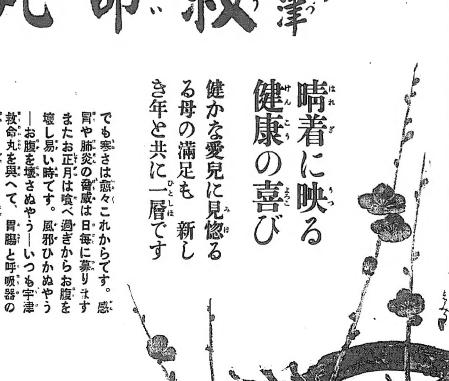
|居る向きがある。戦災の女方の存||的の大事な連續を興すことは中小||育託でもこしらへて急いでやらな||瀬を踏成して題つてゐたが地方。 な事業だけをさら云ふ風にして追し社の株が北麓にも兜町にも塑珠と一消化して行ければ宜いが、それが が落ちて來るより他に途がない 出来ない。さらすると特殊増加 近頃は年に教育高人づつ確えて行 伸び、人口が強えて行くからで 言ひたい。 要するに日本の國選者 治には色々の問題があると思ふり かせねばならんと言ふが、今の世

とである。由來上つたら後で其數一の失差的趣、社會的趣は相當 が言つてをつたが、アメリカで副|櫻があつたから失衆者は成つてる

が取れると言つてもそんな大きな べたのでは計僚弾もからるいぶこ の世前の切りかへなどは竹下大将

貨車百輛を大田に配置

すまし効奏に善改質體の兒い弱・に夫



化剤・氣虫・ンカの見小は丸命救津字

に對する路線の現化によって徹底

安義を共にお知りに挟げ合つて 機構を持いや人な理事性事件

現を見らば、各所に於し始來と た、呼吸なやさしい音楽便な

たこればたらぬ。昨日の安

出來るだけ便切寛容の態度を以 一努力を間 まぬや

野客を一て徒らに傾はずやらた

本年においても引頼き新規の工場

第一扇計量は三五

町、發電力二十萬キロ町、發電力二十萬十四十二十萬四の資金批削立、今秋より 二、江界水力可氣建設。今月末五

の警斃行政への認力協調である。 難になればなるほど、関民大衆と **電気和するの進は、一に網民火製** であるが、この機関面の滑加機大調整官との機関面が多くなるわけ

朝鮮の産業開發に作ぶ、各種工場しものは左の如くである で設績々と具態化 半島の重要性加はる

勢時に魅力以て、野発行政の国際分に鉄道し、田本るだけ特殊官の 周が野難し、文、融資生活が

電力·鐵道·化學工場

大衆も亦賛政官のこの心持ちを中

oれたければたらね。 元來暫然管

の五百萬山 ・、新鮮小野田の三郎工芸 今月 ・、新鮮小野田の三郎工芸 今月 ・ の五百萬山

壊し

を確くして下さい!

種各でま圏拾りよ鎌十二。價薬 りあに部品藥店貨百店藥の國金

食みなさん はこれまで

次は車の貼線のところを折りたと一今一匹の間には鬼の帽子を持たせ

リスに重を

んで棚で付け事を造りなさい、車

雅の方の小さい題はこのそうにす

入からの支那兵が折瓜つて倒れ

雄を挟むような具合に刑心部様々 人間メイピングそのましの競技 ところでせう これからいぶ した。 大つになつれな いたおほきいけんにてどころにまだくこれからいぶ した。 大つになつたら おとしだまい といたいに回覧が以上のことです機は上正月 行で基地へ還るのです。既にわが 日本空歌に平時か

を狙って卵丸を受別するのですか

★爆撃機は帰頭が重い

たらなければいけません これ

です(我国は、寺内大將と〇〇

の小原生の味さんも先生のお飲

の兵隊さんに負けないやり日本 ました、この頭い路でんのお兄 さん、小父さんたちである日本

おひさまのひかりにあ らよびました。と、にこくへみてゐた あげておげんくわんかようおむねにさげます おほきいおこゑをはりからいたいいたくんし あそばうようべ

起きてほえまし.

現りません 絶好の顔合せ

養飯塚勘一郎

灯本ブッハ〇一六

勿が木鬼は瞳を駆す事は出來ませ |ます□と首ふのは、人手は夫々の | |向いて居るのは木鬼だけです。||も敵の直前に限を持つて行つにの中で、人間のやうに腱が前。| く勇敢なのは「ひとで」で

面白いのがあります

ロンドンの東で自轉車狂が最近| 棋風は攻撃を得意とするが、最近

小さな自轉車

島代表とし、辛苦をなめて御殿の爲に觸いて居

士を期間して登りまして 1 版私造

慰問第一日目 (十二月卅一日)

聞きたがる兵隊さん

童心慰問國國分君の慰文日誌()

! 康健よめ環 運泉温歷家的特条專る文次夫大及又及各体制 真から温まつて 元氣でふこる でふこる **パロハブ**の 勝る 勝る ヨクキク

いつしょになかよく

^{醫學博士}德永 勲 西水門所4](裁判所表通) 電話(光) 1 9 6 0 省 泉名の効特麗淸 園樂の適快易安





猛獸使と門都

全國の兒童

TEXES:

貧しき人々へ

紫煙十五萬圓

地元の寄附金を待つて實施

々と新政権

石油凾ご煙草凾の

元山へ大量の注文

中國臨時政府三山領事館へ 明朗な電報舞込む

茂山も合流

励館の豫算 咸南產業獎

共にして活動を続けてゐることは

面目潰れのお醫者

行等下廿度の熟無物かはと定到前

【成興】 奇森縣下北那騎師齊田猛 | 前八時から歩兵第七十四聯隊

三分會に編成聯合分會設置

道當局準備を進

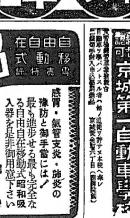
合電ご近く打合せ

名唱大會 成南の繁友













電 電 七 水しく召上れ!の御料理にかけ トの調味料 名古屋市外上野村工人製造株式合計 車學校 社会式株質販鮮胡蓮鉛球地 证九六五一(²)贴本器電 叫戶目: 三百本府職章 社會式株造製節鉛本日。 ** クラブロ郷が若返り白郷、紫後白郷、ホルモこ名が謳つてゐるのも常然、ホルモこ名が謳つてゐるのも常然、ホルモこ名が謳つて敬いて來るのです。從つ群素脆美が輝いて來るのです。從つ群素脆美が輝いて來るのです。從つ 肌に榮養を補給 健康化 化粧榮えが一番 粧 /粉白型温語・各配ンモル赤

[郊外) 41,

クラブ自然は化粧薬のガー都優れ心 も前れないこ大的軟です。これは日 も前れないこ大的軟です。これは日 キリミクラブ白粉でお眠り下さい。 近代趣味豊に十二種あります。スラ郷はれてゐるからです。香り色調は



らうべ ごなたも

O

O

附添 築眼洗學大 に毎瓶一

ぐ防を害の線外紫・しくし美く强を目・し治を病眼



治すと共に恐るべき紫外線の害を防ぐことが野自蘂は紫光線を防止します。それは大野獨特の専覧特許製法によるウルビオ大野獨特の専覧特許製法によるウルビオ大野獨特の専覧特許製法によるウルビオ大野の自蘂は紫光線を防止します。それは大野の とができます



配藁を併用する時は一層治愈も速かです を併用する時は一層治愈も速かです を配りも早く 且つ正しい療法―鼬ち を程治りも早く 且つ正しい療法―鼬ち を程治りも早く 且つ正しい療法―鼬ち を提治りも早く 現の正しい療法―鼬ち



本語目標は離るの目を強く美しくします をれば其の配常が 不潔子泌物を除き が正するだという 遊外を回収し 澄んだ 目にするだといり 遊外を回収し 澄んだ 目にするだといり 遊外を回収し 澄んだ が出のあと先點服すれば使取への効果は が別です



 \dot{t}

E

E

7 0 n i + e C O 0 0 0 % . .

C ပ

O

0

Ξ

ゐ

9

鉄配線光 英原語 4-+>ト 英腹角 日に ヤ 回粒度 日ち 打 日しほ

問題建學大と自由 例定の人西一個二

付スッケ龍島

藥服洗点 (含含の用人のに知) 個 十 筐 十 個 廿 鹼一甘

價

Bithat Bing 應 Bithth B m Bath B m

堂 天 參 會式株 扯 落北阪大ビナコルルの 

かる出が答

學校醫、公醫を總動員して

怪漢現はる

※ 豆 金 の

(日本) 東京市丸ノ内 東京市丸ノ内 東京市丸ノ内

女

電本二円一五 黄金町三ノ一二五 一五 日

四周 岩

部 植田農場へ神照會ラミス人札ニ附ス 人札ニ附ス

花柳病專門

ali

京畿道が率先調査

朝香宮殿下、紫金山〜御登山 天文台前にて謹寫(陳達

とが多い

不動産公寶公告

戦線から齎された美談

松山上等兵夫人温さんの手紙

ガス自殺





日清生命保險株式會社東京市藝町展大学町

藏高等工科學校 5. 清瀬·秦本東京・本海・ね巻の水(東川県三鉄 第一高等無線工科學校 東京の教教館(由に東)、全球(東京教教) 市大森風北千東町(電話佐原四三四四・五六四六)

一角 新記者は直接米銭の

はどに應へ大日本帝國、

煙草賣出副景品電鐵台號表

小 賈 人 協

直

煙

曾

帝大學生求職 京城帝大學友會

口據地に寿甦

中で、日本の主席体で、日本地域、日本の主席体で、日本の主